

昭和三十年七月十五日受領
答 弁 第 二 一 一 号

(質問の 二二)

内閣衆質第二一号

昭和三十年七月十五日

内閣総理大臣 鳩山一郎

衆議院議長 益谷秀次殿

衆議院議員森本靖君提出国道高知―木頭―徳島線の幅員拡張に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員森本靖君提出国道高知―木頭―徳島線の幅員拡張に関する質問に対する

答弁書

二級国道高知―木頭―徳島線は、毎年度継続して改良工事を実施しているが、昭和二十九年
度から道路整備五箇年計画に基づき、最も緊急を要する区間桑野町、橘町町間、槇山村、長岡村山
田間約十六、五軒について幅員五米―六米に改良工事を実施中であり、後免、山田間は、昭和三
十年
度において着工することとなっている。

然し現在全路線に未改良区間百四十五軒を残し、巨額の工事費を要するため、全国的な道路整
備計画を勘案すれば、特にその完成年度を最近において決定することはできない。又待避所の増
設については現在計画はないが、必要に応じ考慮いたしたい。

右答弁する。